

# まき 報 廣

1977

1/25

第260号

発行/新潟県巻町役場

編集/企画課

毎月10日・25日発行



鬼は外!!  
福は内!!

二月三日の「節分の日」にさきがけ、四ツ郷屋保育園（小山清子園長）では、一月二十日に三人の園児のお誕生会を兼ねた「豆まき」を行いました。  
園児は、ボール紙や紙袋でつくったおもいおもいの鬼の面をかぶり「鬼は外、福は内」と声をはりあげながら、豆を運動場狭しと投げていました。

## 体温計

はしか

昔「はしかは命さだめ」といわれるほど命がけでしたが、最近ではかかる人も減り、症状も軽くなっているため軽視される傾向にあります。

しかし、まだ、はしかは脳炎をおこしたり中耳炎、肺炎などを併発しやすい病気です。

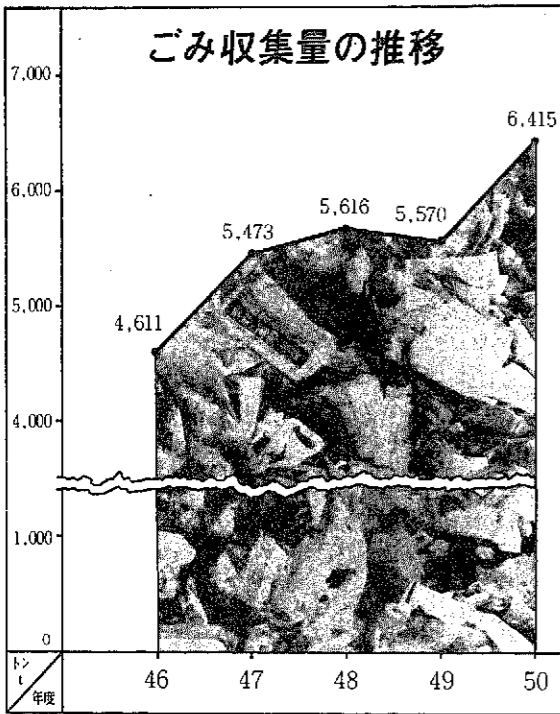
余病を避けるために、はしかワクチンを受けておいたほうがよいと思います。

現在は、任意接種ですから、町では実施しませんので医師に申出て受けてください。一回の接種で免疫が得られます。

▽接種時期 季節に関係ありませんが、春になると他の予防接種が始まりますので今頃の時期がよいでしょう。

▽予防年齢 一歳過ぎの幼児期が適し、それを過ぎたらなるべく早めにしましょう。

▽接種後の反応 接種後七～十日で発熱や発しんが、一部の子どもに出ますが、一～三日の間にもとに回復し、人に伝染しません。熱などのある間は、激しい運動や外出、入浴を避けて回復を待つようにしましょう。



五トと約四〇割の増加となつてい  
ます。(左図参照)  
また、ごみの内容ではビニール  
プラスチック、空カン等の不燃性  
のごみが、全体の二〇割近くも占  
めており、まだまだ多様化してく  
ることも考えられます。  
このため町では、収集車を増加  
すると同時に毎年一台づつ更新し  
ながら収集にあたっており、ごみ  
の焼却処理場については巻町外三  
ヶ町村衛生組合(管理者 巻町長  
村松次一)をつくり、そこで処理  
しています。  
そして同組合では、年ねんごみ  
の量が増大するため昭和四十七年  
に、一日二トの焼却炉を増設し  
合計一日当たり五十トの処理能力

で対処してきました。  
一方、現在の収集車で収集でき  
ない自転車や家具調度品などの耐  
久消費財などの粗大ごみに対し  
は、特別に集積場を設けて収集を  
行っています。  
しかし、増加の一途をたどる粗  
大ごみや不燃性のごみを埋め立て  
地は、すぐ満ぱいになり新しい埋  
め立て地を捜さなければなりません。  
一世帯当たり  
約九千円のごみ処理費  
このようなごみを処理するには  
多額のお金がかかります。  
昭和五十年の一世帯当たりの収

集費は、八千九百八十六円かかり  
昭和四十六年の六千四百八十八円に  
比べ約一・四倍にもなっています  
ごみ収集処理にお金がかかる  
といっても、みなさんの家庭から出  
るごみを「一般廃棄物」といい、  
これは町で処理しなければならな  
いことになっていきます。  
したがって紙くず、野菜くずな  
どの燃えるごみはもろろのこと  
家庭から出るガラス類、ビニール  
プラスチック類、空きカンなどの  
燃えないごみも町の手で処理しな  
ければなりません。  
ただ、集めて焼けばいい、埋め  
ればよいという時代は過ぎ去りま  
した。  
しかし、ビニールや空きカンな  
ど処理しにくいものが増えてい  
る現在、公害防止や焼却炉の損傷防  
止などから、それぞれのごみの特  
性にあった処理をしなければなら  
ません。  
それだけ昔に比べ手間もかかり  
お金もかかるため、どこの町村で  
も大きな悩みの一つとなっていま  
す。

生活様式が変わってくると同時  
に、生産企業側は大量生産を行い  
消費者側の意識も「消費は美徳な  
り」という世相となって、これが  
「ごみ」の質と量に大きな変化を  
もたらしました。  
収集量の変化を見ますと、昭和  
四十六年度の四千六百一トに比  
べ、昭和五十年度は、六千四百十

(つづく)



変わってきた  
ごみの質と量  
高度経済成長をとげた政策に  
より、昭和三十五年を契機に日本  
経済はめざましい発展を遂げてき  
ましたが、それに伴い私たちの生  
活水準も向上してきました。

町では、みなさんから出された  
ごみをより効率的に収集処理  
するよう努力しています。  
ごみは工夫によって減らす  
ことはできてもなくすことはでき  
ません。  
「収集日数をふやせばよい」と  
いう声を聞きますが、確かに町民  
みなさんは便利になりますし、ス  
タイになるでしょう。  
しかし、そのためには、収集車  
をふやしたり人員をふやすなどし  
て、町の収集体制を変えなければ  
なりません。収集日数を月1回も  
なく集めるだけでも約1,500万円も  
かかります。  
町では「ごみ問題を考  
えよう」をキャンペーンとして3  
回にわたり取りあげてみたいと思  
います。町民みなさん、あ  
いまいまいごみ、ごみ、ごみ、の  
問題について、もう一度考えてみま  
しょう。

生活様式が変わってくると同時  
に、生産企業側は大量生産を行い  
消費者側の意識も「消費は美徳な  
り」という世相となって、これが  
「ごみ」の質と量に大きな変化を  
もたらしました。  
収集量の変化を見ますと、昭和  
四十六年度の四千六百一トに比  
べ、昭和五十年度は、六千四百十



事故の発生状況

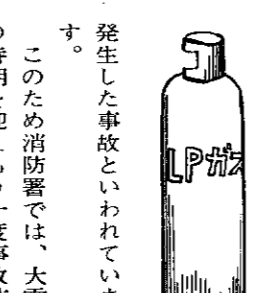
	49年	50年	51年
件数	105	146	145
死者(人)	0	3	1
傷者(人)	121	196	199

昭和五十一年中に町内で発  
生した交通事故(人身事故)  
の状況がまとまりました。  
町でも道路標識、反射鏡な  
どの安全施設の整備や交通指  
導車による呼びかけをした一  
方、巻警察署や交通安全協会

51年事故件数まとまる  
いぜん多い交通3悪  
町ぐるみで事故の撲滅を

などの関係機関の協力のもとで、  
町ぐるみの事故防止運動をすすめ  
てきました。  
しかし、五十年に比べ死者が二  
人減ったものの件数、傷者は横ば  
いの状態になっています。  
また、事故の内容についてはい  
ぜんとしてスピード違反、飲酒運  
転、無免許運転の交通三悪が上位  
を占めており、あらためて運転者  
の交通マナーが問題となっていま  
す。  
五十二年は、上越新幹線や北陸  
自動車道の建設が急ピッチで進め  
られており、大型車等の往来も激  
しく、レジャー交通の増加とも併  
せその影響がでてくるのが予想  
されます。  
これらのことから、警察署  
等と協力し、より効果的な交通安  
全教育や運転者対策を実施しなが  
ら、交通事故がいかに悲劇かを再  
認識させ、町ぐるみで交通事故の  
撲滅に努力しましょう。

雪の  
投げ出しはやめましょう  
町では、夜間を中心にして除雪  
作業に取り組んでいますが、除雪  
後天候が良くなると早く雪をとか  
すため、道路上に雪を投げ出す人  
が見受けられます。  
そうしますと、道路交通上から  
も大きな支障となり、また、雪  
がとけないうちに降雪が降り、  
除雪作業にも支障をきたします。  
スムーズな道路交通確保と除雪  
作業のため、みなさんのご協力  
を再度お願いします。



このところ県内において、  
プロパンガスによる爆発事故  
が続発しています。  
これらのガス爆発は、雪下  
ろしの際の不手際や、降り積  
もった雪の重みなどによって  
ゴムホースがゆるんだりして

▽火気使用場所は定期点検の習慣  
づけをしてください。  
▽外出、就寝前の火の元を点検し  
てください。  
▽火災に備えて避難口の点検や、  
避難通路の除雪をしておいてくだ  
さい。  
▽降雪により、地下式消火栓が一  
時使用困難の状態となりますので  
地元の皆さん消火栓の除雪にご協  
力ください。  
▽用排水路に雪を捨てないで、指  
定された場所に捨ててください。  
▽老人、幼児、病人の就寝場所を  
点検してください。  
▽ガスボンベの周囲に屋根などか  
ら雪を下ろさないでください。  
▽ガス漏れに気づいたら、まず火  
を消しガスの元を閉めてから  
窓を開け、空気を入れかえてくだ  
さい。

発生した事故といわれているま  
す。  
このため消防署では、大雪  
の時期を迎えもう一度事故防  
止のため設備の点検を、と呼  
びかけています。  
\*\*\*\*\*

# ながまの広場

## ②光と影

代表 斉藤文夫

昭和四十九年の秋に日本画、洋画、写真の各分野で創作活動を続けてきた四人の仲間が、分野や流派を乗り越えて新しい美術集団を作り、日頃の「美の創造」に心を燃やし地方文化の発展に貢献した人の念願で、四十九年の十二月に美術集団「光と影」として発足しました。

毎年、一月に「光と影」展を開

き、各自の主張をぶつつけ合ってきました。

昨年、多くの話題をまいた「のぞきからくり」の修復公演は、「光と影」の仲間たちが修理資金、公演と互いの力を結集して、成功のうち第一回公演が終わりました。今年は、新会員に斉藤富雄君を迎えて第三回「光と影」アートフェスティバルを二月十一日から十三日までの三日間、公民館大ホールで開きます。

ご期待ください。

事務局 九区 藤田治雄  
☎(2)13432



## 労働者 最低賃金の改正

新潟県内では、県内で働くすべての労働者に適用する新潟県最低賃金を含めて、3件の最低賃金が下記のとおり改正されました。

使用者は、最低賃金の適用を受ける労働者に対してはその最低賃金額以上の賃金を支払うことになっています。

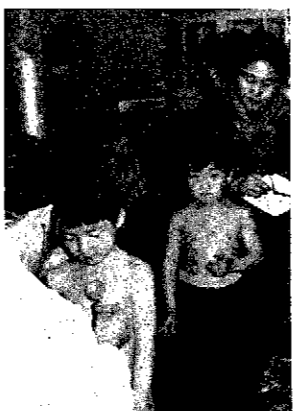
なお、不明な点がありましたら商工観光課または、基準局へお問い合わせください。

新潟労働基準局 ☎0252-66-4161

最低賃金の名	最低賃金額	除外賃金	追加又は除外の産業職種等	効力発生日
新潟県最低賃金	1日 2,048円 時・時 256円	精習動手当 通動家族		51.12.22
新潟県卸売業・小売業最低賃金	1日 2,200円 時・時 275円	精習動手当 通動家族	①飲食店を除く ②清掃、片付け、賄いの業務に主として従事する者を除く	51.12.22
新潟県食料品製造業最低賃金	1日 2,250円 時・時 282円	精習動手当 通動家族		51.12.30

◎最低賃金額欄の(時)は、1日の所定労働時間が当該事業場の一般労働者の所定労働時間より短い者、(時)は、賃金の大部分が時間によって定められている者をいう。

## 健康な体で入学を 松野尾小学校



小学校へ入学する前に、体の悪いところを治療しておきましょうということから管内各小学校で就学児健康診断が行われています。

松野尾小学校(成田校長)では、十八日の午後から未就学児童二十四人の健康診断(内科、歯科知能検査)を行いました。当日は小学校へ入学する子どもたちにとって、校舎へ入るのが初めての出来ごとでした。

もうすぐ春です……。



## 家庭にいて専門店の「味」を チャレンジャー教室

今年初のチャレンジャー教室が一月十九日栄養指導センターで開かれました。家庭にいて専門店の「味」を、と自分たちが材料を持ちより講師に新潟市の鍋谷先生を招き、料理の勉強をしたものです。当日、調理実習の内容は「すし」「あげもの」等で、参加した三十人の奥さん方は、年が明けて初めての実習とあって張り切り、日頃の腕をみがいていました。



## もちつきとカルタとり大会 入徳館小学校

入徳館小学校(渡辺欣次校長)では、18日(土)に新春を祝い、カルタ大会ともちつき大会を行いました。当日は、米を

そろう。大会をたかひのりで行い、おもしろいカルタとり大会を行いました。おもしろいカルタとり大会を行いました。おもしろいカルタとり大会を行いました。



## 山岸さん優勝 第3回元旦マラソンに300人が参加

第三回元旦マラソン大会は、雪の降るなか本町通りで行われ、三百人の老若男女が参加しました。

初走りの後、参加者は用意された甘酒を飲みながら今年一年の夢を語り合っていました。

◆成績結果(一位のみ)

▽小学生男子 森山良二(六区)▽小学生女子 本間聖子(七区)▽中学生一男男子 大平敦郎



(堀山団地)▽中学生二・三年男子 石田亨(十二区)▽中学生女子 池乗節子(十二区)▽十六歳以上 永野健児(安尻)▽二十歳以上 佐藤功(東町)▽三十歳以上 小島秀雄(八区)▽四十歳以上 市川儀夫(赤さび)▽五十歳以上 山岸清一(三区)▽一般女子 佐藤美智子(東町)

## 野菜を食べる

「なべものいい季節になった」という話題の中で、「生野菜を食うのが一番いい」と、口をはさんだ人がいた。

そこで、日本人の食生活について話の花が咲いた。

まず、日本の食糧は豊富になり毎日の食事も昔のお盆か正月のようになった。しかし、生活の全部が変ったわけでもないで心配の種が多い。

野菜などは「先もの食い」という言葉のとおり、年中きゅうりやなす、とまとは食べられ、果物なども季節をいわなくなった。

そこで、昔風に「なべものがい」などといつてもたちまち出鼻をくじかれる。豊かさは、次から次へと新しいものを追ってやまな。そして「米を少なく副食を多く」といわれる。その副食の中の野菜は「ビタミン」や「ミネラル」(微量要素)などを考えて、食べられていくかどうか。

最近、思いもかけない「脚気」が多いという。

先もの食いが、国民の体をこわしているのである。東京付近では「軟弱野菜」を業とする農家がい

## 年金のお知らせ

### ◆保険料の納め忘れはありませんか

国民年金保険料を納付しないで二年経過すると時効になり納付できなくなります。

昭和四十九年十一月・十二月分については、今月で時効が成立し二月以降納付できません。

### ◆もっと高額の年金を

高額の年金を受けたい方は、附加年金の加入をお勧めします。一か月四百円の保険料で、申込みはいつでも受付けています。ただし、さかのぼって加入することはできません。

### ◆年金相談の時間が延長に

年金相談日の相談時間が延長になりましたので気軽に相談ください。

▽相談日時 毎月一日(日・祭日)は翌日 午前十時から午後二時まで  
▽会場 巻町商工会  
▽相談員 三条社会保険事務所 相談員

## 巻町農業振興協議会

西村 欣策





お知らせ

葬祭施設組合 職員の募集

申込みは2月10日まで

卷町・岩室村葬祭施設組合では次により職員を募集します。

- ▼職種・人員 葬祭場管理人一名
- ▼応募資格 学歴不問、町に住んでいる年齢四十五歳以下の健康な男子
- ▼試験の方法 面接試験
- ▼試験の期日 応募者には、後日通知します。
- ▼申込み 二月十日までに、役場備え付けの履歴書に写真(縦六・五センチ横五センチ)をはって総務課までくわしくは、総務課へお問い合わせください。

みどり保育園の園児募集

みどり保育園(堂谷哲雄園長)では、次により五十二年度保育園児を募集します。

▼募集人員 乳児(四月一日現在

で一年六ヶ月以上三歳未満)十名  
 幼児(四月一日現在で三歳以上)三十名

▼受付期間 一月二十六日から二月十日まで

▼申込み 同保育園(七区)備え付けの用紙で申込みください。

なお、入園継続を希望される方は申込みの必要がありません。



町民スキー教室  
 2月13日須原スキー場で

▼主催 卷町体育協会、公民館

▼日時 二月十三日(日)午前六時四十五分第四銀行巻支店前に集合

▼行先 北魚沼郡守門村、須原スキー場

▼対象 一般町民(小学生は父兄同伴)

▼募集人員 八十名(定員になりしだい締め切ります)

▼会費 大人千五百円、小・中学生千二百円(傷害保険を含む)

▼持参品 保険証、中食

十六ミリ映写機 講習会

卷町・湯東村教育委員会と西蒲・燕地区視聴覚ライブラリーでは、多様な子どもたちの欲求に答え、多彩なプログラムを組む方策として、地域子ども育成指導者に映写技術を習得してもらうため十六ミリ発声映写機操作資格取得講習会を次により開催します。

▼日時 一月二十九日と三十日両日とも午前九時から午後四時まで

▼会場 卷町・湯東村教育委員会会議室

▼定員 二十名(定員になりしだい締め切ります)

▼対象 将来子ども会の育成を志す人

▼経費 千円(テキスト代等)

▼申込み 卷町・湯東村教育委員会まで

消費生活講座の開催について

町では、県消費生活センターと共催で主婦連合会副会長の高田ユリ先生を講師に招き、講演会を開催します。お誘い合わせのうえ多数ご出席ください。

▼とき 二月十二日(土)午後一時三十分～三時三十分▼ところ 卷町農業協同組合大ホール▼演題 「これからの消費者問題について」

8のつく日は休み 町商工会の公休日

卷町商工会(星井達雄会長)では、公休日を一月から「8」のつく日にしました。



▼社会福祉に役立ててほしいと次のみなさんからご寄付がありました。

- ▼山川武郎さん(茨城県日立市)から百万円
- ▼漆山小学校(徳永正定校長)生徒会から三千六百二十四円
- ▼峰岡中学校(渡辺一敏校長)若竹生徒会から二千四百七十二円
- ▼巻町連合青年団(阿部富栄団長)から五万円
- ▼巻町建設業協会(筒井昭二代表)から十万円
- ▼八木沢武雄さん(四区)から十万円

2月休日救急病院

外 科	内 科
6日 県立吉田病院 吉田 (2) 5111	6日 大越医院 (2) 2707
11日 伊藤医院 吉田 (3) 3115	11日 笠原医院 (2) 6161
13日 竹前医院 (3) 2809	13日 西川医院 (2) 6066
20日 県立吉田病院 吉田 (2) 5111	20日 巻病院 (2) 3111
27日 巻病院 (2) 3111	27日 長沼医院 (2) 2210

2月の納税

固定資産税 第4期分

納期限 2月28日